

## ■平成21年度補正予算額

742億円 → 285億円(▲457億円)

### 運営費交付金 [17億円 → 8億円(▲9億円)]

#### ● 企業研究者活用型基礎研究推進事業 [12億円 → 6億円(▲6億円)]

当初事業内容：大学、研究開発型独立行政法人が企業の優秀な研究者を受け入れて目的基礎研究を行うことができる枠組みを構築し、産業界の知見や視点を活用した新領域・融合領域等での目的基礎研究を推進するとともに、大学等の研究活動の活性化や企業研究者のスキル向上による企業の研究開発力の強化を図る。

見直し内容：採択課題数を当初予定から縮減した。(当初予定100課題 → 58課題)

#### ● 高度研究人材活用促進事業 [5億円 → 2億円(▲3億円)]

当初事業内容：民間企業の研究開発等の活性化・高度化を図るため、ポスドクを雇用し、その専門的能力・知識を積極的に活用する企業等を支援する。

見直し内容：採用人数を当初予定から縮減した。(当初予定100人 → 34人)

### 施設整備費補助金 [725億円 → 277億円(▲449億円)]

#### ● 地域産学官共同研究拠点の整備 [695億円 → 263億円(▲432億円)]

当初事業内容：科学技術駆動型の地域経済活性化を実現するため、各都道府県に地域産学官共同研究拠点を整備し、地域の特色を活かした産学官共同研究を推進するとともに、研究成果の地域企業への展開を図る。

見直し内容：新たなハコモノの整備の中止、地域における産学官連携プロジェクトを実施しているなど優れた成果が期待できる地域・設備に限定した。

#### ● 最先端の環境科学技術に関する情報発信機能の強化 [30億円 → 14億円(▲17億円)]

当初事業内容：環境科学技術に関する地方科学館の展示開発を支援するとともに、日本科学未来館の環境科学技術関連の展示を開発・改修する。

見直し内容：事業内容を一部縮減した上で、ジオコスモスの改修と環境関連の巡回展示の開発に限定した。